

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題



橘みのり工房で手作り缶詰の話聞く。

「南津海」の色づくみかん園を視察。



JICA（独立行政法人国際協力機構）の農村開発プロジェクト山口県視察研修で、バンングラデシュからの研修員が周防大島町を訪問しました。4月14日は町長を表敬訪問し、たちばなケアプラザ、さざなみ苑などを視察。翌日は農業関係の研修で、少人数で手作りする橘みのり工房の4万3千個の缶詰が予約で全て売り切れるなどの説明を興味深く聞いていました。

また、戸田地区自治会の取り組みや朝市、農業集落排水、これから収穫を迎えるみかん「南津海」の畑を熱心に見学。この事業は京都大学東南アジア研究所の協力も得て、暮らしや文化を誇りにした地域づくりの取り組みをバンングラデシュの村落振興の参考とする目的で行われています。

バンングラデシュからの視察

元気村で花まつり

4月29日、周防大島元気村（屋代）で花まつりが開催され、お大師堂めぐりの参加者に花の苗がプレゼントされました。

会場内のミニゴルフ場パットパットゴルフも開放され、高い丸太の上から打つホールに子どもたちが何度も挑戦。一日のお大師堂めぐりを終えた方々が立ち寄り、珍しいオーストラリア原産の花々を眺められる憩いの場となりました。

